すまいるのとレター

NO. 4

～ 能登を忘れない
西宮からつなぐ想い ～

＜発行元＞
西宮市社会福祉協議会
すまいるプロジェクト
TEL:0798-23-1140
FAX:0798-23-3910

2025年９月発行

西宮からできること

暑さの中、心も熱く！　能登への想いをつなぐために･･･
～物産･パネルをとおして沢山の人の関わり、心に響く活動へ～

８月３０日、まだまだ日差しが照り付ける中、六湛寺南公園でおこなわれた「たねとしずく」主催の「ろくたんじ夏祭り」に能登半島地震の復興支援ブースを出店しました。

出店には関西学院大学生や地域共生館ふれぼののキッズ＆大人のボランティアさんなど、多くの方々に協力いただきました。

能登牡蠣を使用した「牡蠣だし醤油」や「しろえびせんべい」、「奥能登塩サイダー」を冷やして販売。この夏一番とも言えるぐらい暑さが厳しかったこともあり、塩サイダーの売れ行きは上々。「絶妙な塩加減！」という声も多く聞かれ、物産を通じて能登の魅力を知ってもらう機会となりました。

関西学院大学 新聞総部の田爪くんが協力してくれました。同部でも能登地震支援等の取材・発信をしています。
ぜひ HP を検索ください。

能登の様子を伝えるパネル展示も行いました。歩いている人が足を止め熱心に見入ってくださる姿もありました。石川県出身の方が「西宮でこんな取り組みもしているんですね。この活動を広めてもいいですか？」と、活動に共感してくださる力強い言葉をかけてくださいました。

能登の美味しさ！楽しさ！大発見　vol.1

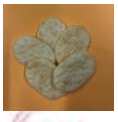
海の幸・山の幸、豊かな自然の能登半島。
このコーナーでは、皆さんに知ってもらいたい能登のいいところ（名物・名産・名所など）を紹介していきます。
今回は、市社協の能登物産の販売でも人気の高い、能登のお菓子「しろえびせんべい」をご紹介します。

白えびは「富山湾の宝石」と言われ、希少な海産物です。
透き通った美しさと上品な甘みが特徴です。
お土産や贈答品として色々な種類が販売されていますので、見かけたら、ぜひ一度お試し下さい。

えび香る
うまさ！

塩味の中に甘さを感じる！

後からえびの味が引き立つ



物産販売等に関することは地区担当まで！

えび香る　口に広がる　能登の海

石川県七尾市での交流活動報告

９月で能登豪雨から１年、来年１月１日には能登地震から丸２年を迎えます。
この災害を風化させないために、西宮市社会福祉協議会（市社協）では地域住民や大学、ＮＰＯ法人等の関係団体等と一緒になって能登を応援し続けています。
被災地に実際に赴き、暮らしている方々と交流することで、特に若者世代のさまざまな気づきが生まれています。
この活動をとおして、西宮での多様なつながりを広げ、災害に強いまちづくり、そして地域福祉を高めていくことをめざしていきます。

関西学院大学（ボランティア活動支援センターヒューマンサービス支援室）主催の能登半島地震支援活動に、日本災害救援ボランティアネットワークと市社協（職員）も同行。能登で続けている交流活動を紹介します。

6月

豊川地域の方々と交流し、『以前は壮年会などが中心となり“祭りごと”が行われていたが、高齢化や人口減少が進み、そこに震災が発生したことで、さらに地域に活気がなくなった』というお話を聞きました。

そんな中、「まちの良さを再発見したい」という地域の方からのお話があり、学生がまちを見たり、お話を聞いたりすることに。そして、学生自身が感じた豊川地域の良さを壁新聞づくり等をとおして伝えました。

六保祭（７月）が行われる日吉神社→

8月

中島町第一団地での交流会、『暑い日が続く中、少しでも心を和ませてもらえたら』、との想いで“風鈴づくり”を学生が企画・実施しました。

作業をしながら他愛のない話で盛り上がり、集会所内は笑顔と温かい雰囲気に・・。
昨年訪問した時に比べると、家屋や道路の修繕が少し進むのと同時に、住民さんが抱える不安も変わってきていると感じました。

集会所での風鈴づくり

能登での現地交流活動は１０月、２月も予定されています。
活動状況について、関西学院大学ヒューマンサービス支援室のホームページやインスタグラム等をぜひご覧ください。

「こうした学生のみなさんの活動や声が、豊川地域の自信や活力につながります。」

能登の方から

関学生（ボランティア）

「地域の方々のあたたかさを感じることができました。」
「被災地の方々が地域のつながり作りに取り組んでいるのに、私は地元（西宮）で何もできていないですね・・・。」

「“まだ終わっていない”、今の能登の姿を知ること、伝えていくことの大切さを改めて実感した。」
「西宮でも、若い世代も一緒に自分たちの“地域の良さ”や“つながりの大切さ”を住民が感じられる機会を作っていきたい。」

同行した社協職員

西宮市社協の職員研修の一環として、能登で活動した学生ボランティアによる「現地活動報告会」を開催しました。（7月）
今後、学生による活動報告等も西宮の地域で広げていきたいと思います。